

中尾小だより

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 2596-1

HP <http://nakao-e.saitama-city.ed.jp> TEL: 048-873-0216 FAX: 048-810-1120

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた
心豊かな児童の育成

元気に登校 笑顔で下校

校長 田口幸久

新しい学年がスタートして1ヶ月が経ちました。新緑の中、今日も子どもたちが登校して来ます。

「おはようございます！」元気いっぱいにあいさつする子、マスク越しにニッコリ笑顔を返してくれる子、眠そうな目をしている子など、表情は一人ひとり様々です。先頭を歩いている班長さんにつられてあいさつする1年生も微笑ましいです。1日を元気にスタートするためには、生活習慣が大切です。

「朝ごはんは食べて来たのかな」「早寝早起き、大丈夫かな」「今日も楽しく元気で過ごしてほしいな」正門でも教室でも、子どもたちを迎える私たち教職員の思いは一緒です。

朝、週2日程度、地域をまわっています。危険な場所には、貴重な朝の時間をやりくりして立ってくださっている旗振り当番の保護者の皆様や、交通指導員さん、防犯ボランティアさんがいます。子どもたちに「あいさつ」や「声かけ」をしてくださっているのを見ると、本当に頭が下がります。

思い出すと私が高校生の頃、近所には、少し怖そうな酒屋のおじさんがいつも道に立っていて、子どもたちや近所の人によく声をかけていました。私にも、「元気か?」「ご飯食べてるのか」「頑張れよ」などと、タミ声から発せられるひと言ひと言からエネルギーをもらって、苦しい時も何とか一日頑張れた、という思い出が残っています。勿論、よくないことをすると、おもいきり叱られもしましたが…。

人と人とのつながりが薄れるとともに、地域の教育力も無くなったと言われて久しい昨今ではありますが、あいさつや励ましの言葉は、人と人をつなげる「心のパスポート」として、一層大切なのではないかと感じています。

ところで、あいさつをするのは何故でしょう。「あいさつは、豊かな心のふれあい」と言われます。私自身も子ども時代、友達とけんかをしてしまった翌日、「おはよう」のひと言で仲良く過ごせるようになったり、困っている友達を助けてあげた時、「昨日は、ありがとう」と言われ、幸せな気分になったりしたことを覚えています。あいさつは、ちょっとした勇気が必要です。誰でも「あいさつをしよう」と思いながらその場をやり過ごしてしまい、後悔した経験はあると思います。だから、人と会った時には、ちょっとした勇気を出すことも大切です。「嬉しい」「楽しい」「頑張ろう」「許してあげよう」等、豊かな心が湧き出るのは、心のこもった「ひと言」なのだと思います。

さいたま市では、「はい」「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」という「心を潤す4つの言葉」を掲げ、「見えない心を伝えよう」との呼びかけを続けています。機械的に声を出すのではなく、あいさつすることの大切さやあいさつを交わすことのよさをまずは大人が背中で見せ、できたら褒めながら、心が触れ合える場をたくさんつくっていきたくないと努めてまいります。

いよいよ5月。校内には、中尾っ子たちの「明るいあいさつ」が響いてきました。

「あ」明るく 「い」いつでも 「さ」先に・自分から 「つ」続けて

